

【主題名】 広い心 【相互理解、寛容】高B－（11）		【教材名】 「折れたタワー」（「生きる力5」日本文教出版）
【本時のねらい】誰にでも失敗があることを理解したうえで相手の失敗を許そうとするひろしの思いを捉えることを通して、相手の立場になって、広い心で許そうとする心情を育てる。		
【指導の要点】集団の中で生活していくためには、謙虚さと寛容な心が必要である。しかし、常に寛大な心を持ち、他人の過ちを許すことはなかなかできることではなく、自分の立場や思いを守るために、つい他人の失敗や過ちを一方的に非難したり、自分とは異なる意見や立場を受け入れることが難しかったりする場合が多い。そこで、本教材ではのりおを許したひろしの寛容な心を考えさせることで、人間には誰も失敗をしてしまうことがあるということに気付かせ、寛容な心をもつことの大切さについて考えを深めさせたい。		
【主題に関わる児童の実態】本学級の児童は、思いやりの気持ちが強く、進んで友達に関わろうとする児童が多い。また、縦割り掃除においては下級生に優しく接することができる児童も多い。しかし、会話の中で相手の気持ちを考えずに思ったことをそのまま口に出し、周りもその場の雰囲気にならされて同調してしまうこともしばしばある。よりよい人間関係を築いていくためには、相手の立場に立ち、自分と異なる相手を受け止める寛容な心を持つことが大切であることに気付かせたい。		【授業を通して引き出したい児童の考え】 ・人の間違いを許すには、広い心で受け入れることが大事だな。 ・相手の立場を考慮することが大事だな。 ・自分にも同じことがあるかもしれないな。 ・誰にでも間違いはあるから、しょうがないよな。 ・許すことでこれからの関係がよくなると思う。
指導上の工夫		板書計画（ポイントのみ）
自分自身との関わりで考えるための工夫	自分がひろしの立場だったら許せるか、許せないかを心情スケールを使って自分の立場を表明させ、その理由を問うていくことで、教材の中だけの話にさせないようにする。また、ネームプレートを黒板に貼ることで問題への参加意識を高める。	
多面的・多角的に捉えるための工夫	ひろしに許してもらったのりおの気持ちを考える事で、互いの気持ちを考え合うことが大事であることに気付かせたい。また、これからの二人の関係についても考えさせることで、より広く問題について考えさせる。	
【評価】誰にでも失敗があることを理解したうえで相手の立場になって広い心で許す大切さを考えることができたか。		
授業の評価の観点	心情スケールやネームプレートを用いて、問題をより自分事として考えさせることができたか。また、声かけや問いがあったか。（自分自身） 許してもらったのりおの気持ちや、これからの二人の関係についても考えさせ、広い心をもつことで相手とのこれからの関係も良くなることについて気付かせることができたか。（多面的・多角的）	
児童の評価の観点	心情スケールに自分の立場を表明し、問題場面について考え、広い心で許すことのできたひろしの気持ちについて考える事ができたか。（自分自身） 許してもらったのりおの気持ちや、これからの二人の関係についても考え、広い心をもつことの大切さについて考えていたか。（多面的・多角的）	

【学習指導過程】

	学習活動と主な発問（○）、補助発問・問い返し（◆）、留意事項（・）	予想される児童の反応
導入	1. アンケートの結果より、友達のまちがいや失敗を許した経験について話し合う。（3分） 考える事を提示する。 人のまちがいや失敗を「許す」にはどんな気持ちが必要だろう	（アンケート結果の提示）
展開	2. 教材について話し合う。（15分） ○自分ならひろしのようにのりおを許すことができますか。（8分） ・心情スケールを使って自分の立場を表明させ、理由を問うていく。 ・自分の正直な気持ちを出せるよう、どの立場を表明しても肯定的な声かけをする。 ○くやしい思いがあったのに最終的に許すことができたのはどんな気持ちからか。（7分） ◆のりおの顔を見たひろしはどんなことを考えただろう。 ◆許してもらったのりおはどんな気持ちになっただろう。これからの2人はどんな関係になっていくだろう。 3. 人を許すために大事な気持ちについて考える。（10分）※個人3分 グループ5分全体2分 ○人の間違いや失敗を許すためにはどんな気持ちをもつことが大事でしょう。	<ul style="list-style-type: none"> ・僕だったら許せない。理由は大事にしていたものだから ・私だったら許せるかな・・・。 ・ぼくと同じだな。 ・あのときぼくも嫌な思いをしたな。 ・許す気持ちが大切だな。 ・のりおは、安心した。 ・ひろしのおかげで仲直りできた。 ・人の間違いを許すには、広い心で受け入れることが大事だな。 ・相手の立場を考慮することが大事だな。 ・自分にも同じことがあるかもしれないな。
終末	4. 本時の振り返りをする。（5分） 道徳ノートに自分の考えを記入することを通して、今日の学習について振り返る。 5. ふりかえりを発表する。（2分）	